

運転者に自分の存在を早く知らせるためにも

夜間は命を守る反射材 を装着しましょう!

買い物



通学



自転車



雨の日



ジョギング



ペットの散歩



反射材を装着することで、ドライバーからの発見が早くなります。

ヘッドライト下向きの場合

黒っぽい服装

約26m

明るい服装

約38m

反射材を着用

約57m以上



反射材はホームセンターなどで購入することができます。



岐阜県警察



夜間における交通事故防止のポイント

ドライバーの皆さんへ

交通事故は夕暮れ時から夜間の時間帯に多く発生しています。
自車の存在をアピールするためにも、早めのライト点灯を実践
しましょう。
また、夜間のヘッドライトはハイビームが基本です！
先行車や対向車がない場合は、ライトをハイビームにして早く
危険を発見するように努めましょう。



早めのライト点灯・ハイビームが基本



◇(ダイヤ)マークはこの先「横断歩道あり」の目印

ドライバーの皆さんへ

横断歩道は歩行者最優先です。
運転中、◇(ダイヤ)マークの道路標示がある場合、それは、この
先に横断歩道があるという意味です。
◇(ダイヤ)マークの道路標示を見たら、その先の横断歩道に
横断者がいるかもしれないと予測し、横断歩道手前で停止出来る
ような速度で、必ず横断者等の有無を確認しましょう。
そして、もし横断しようとする人や横断中の人がいる場合は必ず
停止して、横断者を通行させてください。

自転車利用者の皆さんへ

自転車には、夜間やトンネル内などにおいて、後続の自動車が
ライトで照射したとき(約100メートルの位置)に、その反射光
が容易に確認出来る反射器材等を備えていなければいけません。
このほか、タイヤスポーク等にも反射材を装着し、側方にも自身
の存在をアピールしましょう。



自転車の側面にも反射材装着



夜間は命を守る反射材を着用

歩行者の皆さんへ

夕暮れ時や夜間は、周囲が見えにくくなります。
車のライトがついていても、運転者から歩行者が見えているとは
限りません。
道路を横断するときは、しっかり安全確認をするとともに、横断
歩道を渡りましょう。
また、反射材は、車のライト等を反射して光ります。
運転手に早く気付いてもらうためにも、反射材を身につけて、
自分の存在をアピールしましょう。